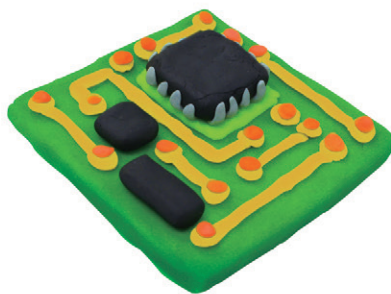
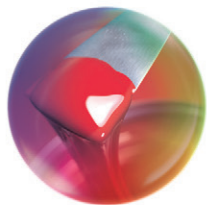




Color & Comfort

株主のみなさまへ

第119期 報告書(中間) 平成28年1月1日～平成28年6月30日



Color & Comfort



DIC 株式会社





Color & Comfort

Contents

株主のみなさまへ	3
連結業績	4
中期経営計画DIC108必達に向けて	7
会社概要・株主メモ	10
DIC川村記念美術館のご案内	11

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

さて、当社では、本年1月より3か年の中期経営計画「DIC108」を新たにスタートさせました。中長期的な成長シナリオを描き、その成長軌道に乗せるための3年間とすべく、①成長牽引事業の拡大、②戦略的投資(M&A等)機会の追求、③成熟地域での更なる合理化、④次世代事業の創出、といった4つの事業施策の完遂に向け、積極果敢に取り組んで参ります。

平成28年6月30日をもちまして、当社第119期における第2四半期までの営業が終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

連結業績のご報告

当社グループを取り巻く事業環境については、北米・欧州においては、景気回復が緩やかに継続しました。アジアにおいては、中国の景気は徐々に減速しつつある一方、東南アジアでは景気持ち直しの動きが見られました。インドでは、景気がゆっくりと回復しています。国内における景気は弱さも見られるものの、緩やかな回復基調が続いています。一方、世界経済は、英国のEU離脱問題に伴い先行き不透明感が高まりつつあります。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,777億円と前年同期比7.8%の減収となりました。

営業利益は、高付加価値品の成長やコストダウンなどにより、261億円と前年同期比15.5%の増益となりました。

経常利益は、金融収支の改善などにより267億円と前年同期比22.3%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益[※]は、170億円と前年同期比11.0%の増益となりました。

[※] 会計基準の変更により、「四半期純利益」の表示が「親会社株主に帰属する四半期純利益」に変更されました。



通期の連結業績見通しと配当金

経済状況については、英国のEU離脱問題や中国の景気減速などに留意する必要がありますが、国内外において、緩やかに回復していくことが期待されます。

このような状況の下、当社グループは新中期経営計画「DIC108」に基づき、成長牽引事業の拡大や成熟地域での更なる合理化への取り組みなどを通して、通期の業績では営業利益、経常利益での増益を見込んでいます。

また、当期の配当につきましては、1株当たり4円の間配当を実施し、期末配当につきましては、第118期定時株主総会の承認に基づき、平成28年7月1日に当社株式10株を1株とする株式併合が行われたことから、1株あたり40円とすることを予定しております。当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様への利益還元をより充実させていくことを基本方針と考えております。また内部留保資金については、その充実にも努めるとともに、企業体質を一層強化することで株主の皆様の将来的な利益拡大に寄与すべく、より有効に使用して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
社長執行役員

中西義之

事業セグメント別業績の概況

プリンティングインキ



日本では、パッケージ用インキの順調な出荷に加え、接着剤や新製品の拡販もあり、増収となりました。欧州及び北米では、出版用インキ及び新聞用インキは需要減少の影響を受け減収となりましたが、パッケージ用インキの成長により、前年同期並となりました。中国では、景気減速による需要減少の影響を受け、全品目で減収となりました。東南アジアでは、出版用インキ及びパッケージ用インキが大きく成長し、増収となりました。オセアニアでも、出版用インキ及びパッケージ用インキの出荷が好調に推移しましたが、新聞用インキの需要減少をカバーしきれず、減収となりました。インドでは、新聞用インキの落ち込みにより、減収となりました。以上の結果、全体としては現地通貨ベースで若干の増収になりましたが、為替の影響により減収となりました。

営業利益は、国内インキの回復やパッケージ用インキが堅調に推移したことなどにより、増益となりました。

ファインケミカル



顔料は、国内では、カラーフィルタ用を中心に出荷が好調に推移したことにより、増収となりました。欧米では、化粧品用が大きく成長し、その他顔料の出荷も堅調に推移しましたが、為替の影響を受け、減収となりました。TFT液晶は、中国の新工場からの大幅な出荷増に加え、遅れていた国内からの新製品の出荷が本格化したことで、ほぼ前年同期並まで回復しました。以上の結果、現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替の影響により減収となりました。

営業利益は、品目構成の改善などにより、増益となりました。

ポリマ



国内では、需要は総じて堅調に推移しましたが、ポリスチレンなどの値下げの影響により、減収となりました。海外では、電気・電子向けがやや回復するなど、需要は堅調に推移しましたが、製品値下げや為替の影響などにより、減収となりました。以上の結果、全体として減収となりました。

営業利益は、コストダウンなどにより、大幅な増益となりました。

コンパウンド



PPSコンパウンドは、国内外の出荷が好調に推移したことにより、増収となりました。ジェットインキは、国内外の出荷が堅調に推移しましたが、為替の影響などにより、減収となりました。以上の結果、全体としては現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替の影響などを受け、前年同期並に留まりました。

営業利益は、品目構成の改善などにより、大幅な増益となりました。

アプリケーションマテリアルズ



中空糸膜モジュールやヘルスケア食品は、出荷が好調に推移し増収となりましたが、工業用粘着テープが、スマートフォン向け需要停滞の影響を受けたことにより、全体としては、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

子会社及び関連会社

◇ プリンティングインキ 105社

DICグラフィックス株式会社 (東京都)
 Sun Chemical Group Coöperatief U.A. (オランダ)
 南通迪愛生色料有限公司 (中国)
 PT. DIC GRAPHICS (インドネシア)
 DIC India Ltd. (インド)
 DIC (Malaysia) Sdn. Bhd. (マレーシア)
 DIC Graphics (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
 他98社

◇ ファインケミカル 5社

連雲港迪愛生色料有限公司 (中国)
 他4社

◇ ポリマ 28社

星光PMC株式会社 (東京都)
 DICマテリアル株式会社 (東京都)
 DIC北日本ポリマ株式会社 (宮城県)
 DIC九州ポリマ株式会社 (大分県)
 Siam Chemical Industry Co., Ltd. (タイ)
 常州華日新材有限公司 (中国)
 張家港迪愛生化工有限公司 (中国)
 立大化工股份有限公司 (台湾)
 迪愛生合成樹脂 (中山) 有限公司 (中国)
 他19社

◇ コンパウンド 5社

DIC EP株式会社 (千葉県)
 PT. DIC Astra Chemicals (インドネシア)
 他3社

□ アプリケーションマテリアルズ 16社

DICプラスチック株式会社 (埼玉県)
 DICデコール株式会社 (埼玉県)
 DIC化工株式会社 (滋賀県)
 Earthrise Nutritionals, LLC. (アメリカ)
 他12社

○ その他 14社

DIC Asia Pacific Pte Ltd (シンガポール)
 迪愛生投資有限公司 (中国)
 青島迪愛生精細化学有限公司 (中国)
 他11社

● DIC 株式会社



セグメント情報

■ 売上高

(単位: 億円)

	平成27年度 2Q実績 (累計)	平成28年度 2Q実績 (累計)	前年同期比 (%)
プリンティングインキ	2,040	1,856	△ 9.0%
ファインケミカル	689	658	△ 4.5%
ポリマ	979	897	△ 8.4%
コンパウンド	315	308	△ 2.4%
アプリケーションマテリアルズ	290	267	△ 8.0%
その他、全社・消去	△ 217	△ 209	—
連結合計	4,096	3,777	△ 7.8%

■ 営業利益

(単位: 億円)

	平成27年度 2Q実績 (累計)	平成28年度 2Q実績 (累計)	前年同期比 (%)
プリンティングインキ	74	83	+12.1%
ファインケミカル	68	70	+1.9%
ポリマ	71	94	+33.1%
コンパウンド	24	28	+16.1%
アプリケーションマテリアルズ	11	9	△ 21.1%
その他、全社・消去	△ 22	△ 23	—
連結合計	226	261	+15.5%

注) 中期経営計画「DIC108」の開始に伴い、平成28年1月1日付でセグメント区分を変更しています。
 前年度実績につきましては、変更後のセグメントに組み替えて記載しています。

連結財務諸表等

連結貸借対照表（要約）

平成28年6月30日現在

		(単位：億円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	423	支払手形・買掛金	916
受取手形・売掛金	1,973	短期借入金（社債等含む）	1,057
たな卸資産	1,372	その他の流動負債	691
その他の流動資産	224	流動負債 合計	2,664
流動資産 合計	3,992	長期借入金（社債等含む）	1,645
有形固定資産	2,145	その他の固定負債	412
無形固定資産	92	固定負債 合計	2,057
投資その他の資産	1,166	負債 合計	4,721
固定資産 合計	3,403	株主資本：	
		資本金	966
		資本剰余金	941
		利益剰余金	1,455
		自己株式	△ 12
		その他の包括利益累計額：	
		為替換算調整勘定	△ 718
		その他	△ 226
		非支配株主持分^{*1}	268
		純資産 合計	2,674
資産 合計	7,395	負債及び純資産合計	7,395

連結損益計算書（要約）

平成28年1月1日～平成28年6月30日まで

		(単位：億円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	3,777		
売上原価	2,873		
販売費及び一般管理費	644		
営業利益	261		
金融収支	△ 15		
持分法による投資利益	17		
為替差損益	△ 0		
その他	4		
経常利益	267		
特別利益	1		
特別損失	△ 41		
税金等調整前四半期純利益	227		
法人税等	△ 44		
非支配株主に帰属する四半期純利益 ^{*2}	△ 13		
親会社株主に帰属する四半期純利益^{*3}	170		

連結キャッシュフロー計算書（要約）

平成28年1月1日～平成28年6月30日まで

		(単位：億円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	304		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 190		
フリーキャッシュ・フロー	114		
財務活動によるキャッシュ・フロー	148		
現金及び現金等価物に係る換算差額	△ 38		
現金及び現金等価物の増減額	224		
現金及び現金等価物の期首残高	151		
現金及び現金等価物の四半期末残高	375		

注) 会計基準の変更により、一部科目の表示が変更されました。

※ 1 “少数株主持分”が“非支配株主持分”に変更

※ 2 “少数株主利益”が“非支配株主に帰属する四半期純利益”に変更

※ 3 “四半期純利益”が“親会社株主に帰属する四半期純利益”に変更

更なる成長に向け加速する設備投資

DIC108では、2016年度からの3年間で、通常投資1,200億円を計画するとともに、戦略的投資枠1,500億円を設定しています。財務体質、株主還元とのバランスを取りながら、成長投資を積極的に進めていきます。

1) パッケージ用インキの新工場が完成

DICでは、デジタル化の進展により需要減少が続く出版・新聞などの紙媒体用のインキから、新興国を中心に大きく需要の拡大が見込める食品包装などに使用するパッケージ用インキへのシフトを加速しています。

これに合わせ、製造拠点の整備を各地で進めており、6月にはトルコで最新鋭の工場が、7月にはインドネシアで生産拡大を目的とした工場が稼働を開始しました。

拡大する需要を積極的に取り込み、利益拡大に貢献していきます。



インドネシア・スラバヤ地区の工場



トルコ・イズミル市の工場

2) 中国にポリマ技術センターを設立

グローバル化を進めるポリマ事業では、成長地域における顧客ニーズにマッチした製品開発や技術サービスの迅速対応など、海外ビジネスにおける技術体制強化を目的に、主要地域で技術センターの設立を進めています。

当社グループは、90年代後半より、中国においてポリマ事業を積極的に展開しており、常州華日新材料有限公司、迪愛生合成樹脂(中山)有限公司、張家港迪愛生化工有限公司を相次いで開設し、事業を展開してきました。今般の技術センター設立により技術部門の一体運営を図り情報の集約化を進めるとともに、研究開発を行う青島迪愛生精細化学有限公司との連携を強化することで研究効率を高め、現地ニーズにマッチした製品開発のスピードアップにつなげていきます。



将来を見据えた新製品開発

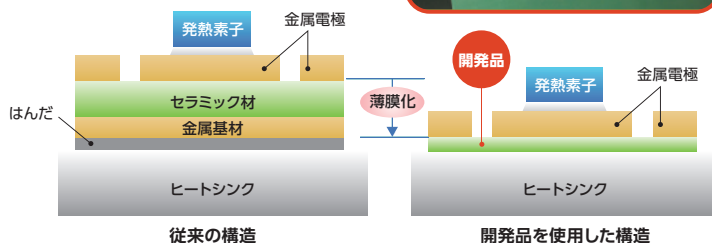
DICでは、DIC108必達に向け既存製品の拡販を進めると共に、将来を見据えた新製品開発にも注力しています。市場での評価が高い、当社が得意とする高機能な開発品をご紹介します。

開発した
高熱伝導絶縁
接着シート

1 高熱伝導絶縁接着シートを開発

高機能な家電製品・自動車部品などのパワーモジュールや、照明などで用いられる発光ダイオード(LED) などから発生する熱を放散する用途で使用される銅、アルミニウムなどの各種基材に、180~200℃で硬化・接着する高熱伝導絶縁接着シートを開発しました。

発熱素子の性能劣化を防ぎ、長寿命化を実現するために、放熱材料の開発が各社で盛んに行われています。当社が開発したシートは、現在主流となっているセラミック材料よりも大幅に薄膜化できるため、熱抵抗を小さくすることができます。



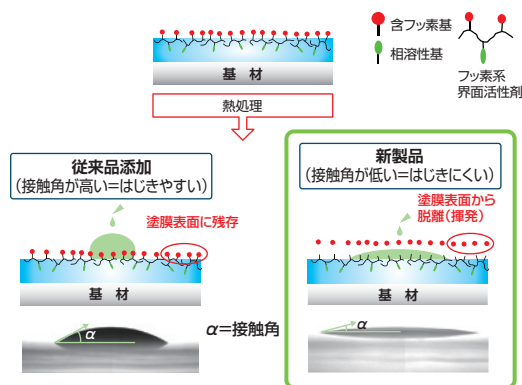
2 熱分解型フッ素系界面活性剤「メガファック DS-21」を開発・上市

熱処理によりフッ素含有基が離脱することを特徴とする、熱分解型のフッ素系界面活性剤を開発しました。フッ素系界面活性剤は表面に配向し平滑な表面を形成する効果があるため、精密な平滑表面が求められるエレクトロニクス分野向けのレジストやコーティング材の添加剤として多用されています。一方で、フッ素含有基は、上塗りとのなじみが悪く、ハジキが発生するなどの課題がありました。

このたび開発した新製品は、当社の従来製品と同等に表面を平滑にする性能を有しますが、200℃で加熱処理を行うことで表面に配向したフッ素含有基が離脱するため、塗膜表面は添加剤未使用の塗膜と同等の表面状態となります。

本新製品は、長年にわたって培ってきた、当社の基盤技術の一つである有機分子設計・高分子設計技術を駆使して開発した、これまでにない当社オリジナルのユニークな製品です。

現在、多数のディスプレイ材料メーカーでの採用が進んでいます。



溶剤をコーティング剤に見立てた代用試験
～接触角が低いほど、なじみが良いことをあらわす～

事業紹介 DIC108でも注目されるヘルスケア食品

DICでは、1970年代より藍藻類スピルリナを加工した健康食品事業を展開してきました。最近では、スピルリナから抽出した青色素“フィコシアニン”の需要が、合成着色料から天然色素への移行が急速に進む欧米市場を中心に飛躍的に高まっています。

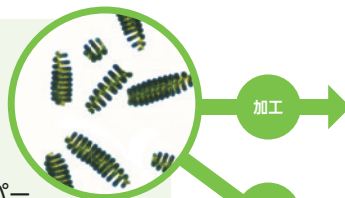
藍藻類スピルリナ

約30億年前に誕生し、高温・強アルカリという環境で育つ生命力の強い“藻”。

アサイーやチアシードなどと共にスーパーフードと呼ばれ、栄養価が高く、バランスが良いことから、美容と健康に対する意識の高い海外のセレブリティの間では既に高い評価を受けています。

- 詳しくはDICライフテックのホームページをご覧ください。
<http://www.dlt-spl.co.jp/>

QRコードからの
アクセスはこちらから



加工

成分を
抽出



健康食品

50種類以上の健康・栄養成分をマルチに含有。
(ドラッグストアでご購入いただけます)

天然系 食品青色素

氷菓などに使用される米国食品医薬品局の認可、欧州規格への準拠を受け、安全志向の高い欧米を中心に需要が拡大。



スピルリナの屋外培養池



米国子会社 アースライズの 培養池

中国の海南DICと合わせ、世界最大級のスピルリナ培養池を有する。

天然系青色素抽出工場の新設



拡大する需要を見据え、青色素抽出工場を新設(米国子会社アースライズ社)

お知らせ

DICライフテックでは、通信販売でのみ購入できるDICスピルリナを使用した新製品「藻のすごい青汁」を開発、販売を開始しました。

DICスピルリナの粉末と、農薬を使用せず丁寧に育てた国産の大麦若葉、腸まで届く今話題の乳酸菌「フェカリス菌」を配合し、1杯で理想の栄養バランスを追求した健康食品です。

【通販サイト】
<http://msg.dlt-spl.co.jp/>



QRコードからの
アクセスはこちらから



会社概要・株主メモ

■ 会社概要

—平成28年6月30現在—

商号	DIC株式会社 DIC Corporation
本店	〒174-8520 東京都板橋区坂下三丁目35番58号 電話 03 (3966) 2111
本社	〒103-8233 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル 電話 03 (6733) 3000
創業	明治41年2月15日(1908年)
設立	昭和12年3月15日(1937年)
従業員数	連結20,241名 <単体3,558名>
株式の状況	発行する株式の総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 951,569,048株 株主数 42,770名 1単元の株式の数 1,000株

※ 当社は、平成28年3月29日開催の第118期定時株主総会の決議に基づき、平成28年7月1日を効力発生日として、株式併合(10株を1株に併合) および単元株式数の変更(1000株から100株に変更)を行いました。
これにより、平成28年7月1日現在の株式の状況は、以下のとおりとなります。

発行する株式の総数	150,000,000株
発行済み株式の総数	95,156,904株
株主数	41,881名
1単元の株式の数	100株

■ 株主メモ

事業年度	1月1日~12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
中間配当受領 株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) TEL 03-6701-5000 (通話料有料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。) URL http://www.dic-global.com/
株主優待制度	毎年12月31日現在の株主名簿記載の100株以上ご所有の株主に対し、一律に当社DIC川村記念美術館の「株主ご優待招待券」2枚を贈呈

【ご注意】

- 住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

DIC川村記念美術館のご案内



DIC川村記念美術館は、当社が関連会社とともに収集してきた美術品を公開するため、千葉県佐倉市の総合研究所に隣接する敷地内に1990年に設立した美術館です。

17世紀のレンブラントから、印象派、エコール・ド・パリ、日本の屏風絵、そして20世紀後半のアメリカ美術まで多彩なコレクションを展示するとともに、収蔵品にちなんだ企画展や話題の展覧会を年に数回開催しています。

これから見られる展覧会

レオナール・フジタとモデルたち

2016年9月17日(土) - 2017年1月15日(日)

日本からフランスへ渡り、「乳白色の下地」と呼ばれる独自の画面によって両大戦間のパリで一躍時代の寵児となったレオナール・フジタ(藤田嗣治 1886-1968)。本展では彼のキャンバスに登場する人物を「モデル」という観点から再検討するとともに、フジタを取り巻く人的環境と、フジタが人物という主題を通して取り組んだ造形的問題というふたつの観点から、この画家の新たな一面を紹介します。



レオナール・フジタ《眠れる女》1931年 (公財) 平野政吉美術財団

ヴォルス — 写真、絵画、エッチング — (仮称)

2017年春 開催予定

ヴォルス(1913-1951)はドイツに生まれ、音楽、詩に親しみ、独学で絵を描くようになりました。フランスに移り住み、強い凝視力の写真作品でまず注目されます。二つの世界大戦に翻弄され、各地を流浪しながら、彼は蜘蛛の糸のように繊細な珠玉の水彩画を生み出しました。ヴォルスに自ら挿画を依頼した、ジャン=ポール・サルトルの著作本も展示する予定です。DIC川村記念美術館の充実したヴォルス・コレクションを基に、日本では約40年ぶりとなる本格的な回顧展をお楽しみください。



ヴォルス《無題》1942/43年 DIC川村記念美術館

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(ただし祝日は開館し、翌平日に振替)、年末年始(12月25日～1月2日)、展示替え/メンテナンスの臨時休館

入館料：「レオナール・フジタとモデルたち」 一般1,300円、学生・65歳以上1,100円、小中高600円

「ヴォルス — 写真、絵画、エッチング — (仮称)」 料金未定

庭園のみご利用の場合200円(高校生以下無料)

所在地：千葉県佐倉市坂戸631

交通：・お車で→東関東自動車道「佐倉IC」から約5km、無料駐車場300台完備

・電車+送迎バスで→JR総武本線「佐倉」駅または京成本線「京成佐倉」駅より無料送迎バス(JR佐倉駅→約20分/京成佐倉駅→約30分)

・高速バスで→東京駅八重洲北口の京成バス3番乗り場から1日1往復運行、片道約60分

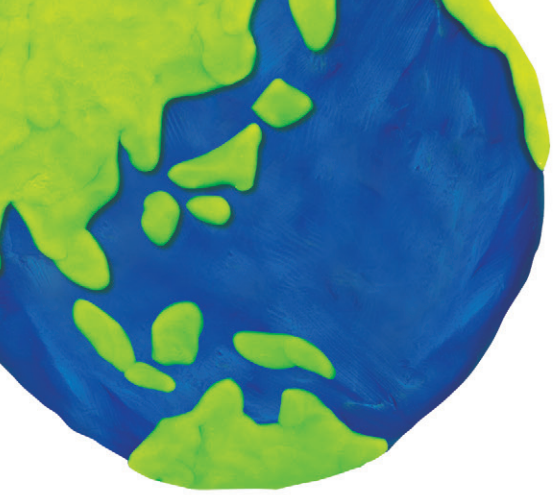
お問い合わせ：展覧会の詳細など、最新情報はホームページでお知らせしております。

URL: <http://kawamura-museum.dic.co.jp>

TEL: 0120-498-130(通話料無料・自動音声案内)



QRコードからの
アクセスはこちらから



DICのシンボルマークのコンセプトは、
「共有から生まれる発想力 ~ Collaborative Inspiration」。
私たちは、クライアントをはじめ様々な人とのコラボレーションによって
生まれる新たな発想を積極的に取り入れ、
深めることで企業価値のさらなる向上を図ります。

<http://www.dic-global.com/>



本冊子のデザインはユニバーサルデザインフォントを使用し、
印刷には VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの環境にやさしい
DIC グラフィックス株式会社の100%植物油型インキ「**ナチュラルリス100**」を使用しています。